

# ハンセン病問題 100人理解深める

楽泉園入所者も語る

前橋で集会

ハンセン病の元患者との交流や啓発活動などに取り組む「群馬・ハンセン病問題の真の解決をめざし、ともに

生きる会」

(広田繁雄

会長)は3日、前橋市

の県公社総合ビルで集

会を開き、約100人

が差別や人権問題につ

いて理解を深めた。

団体の結成から20年

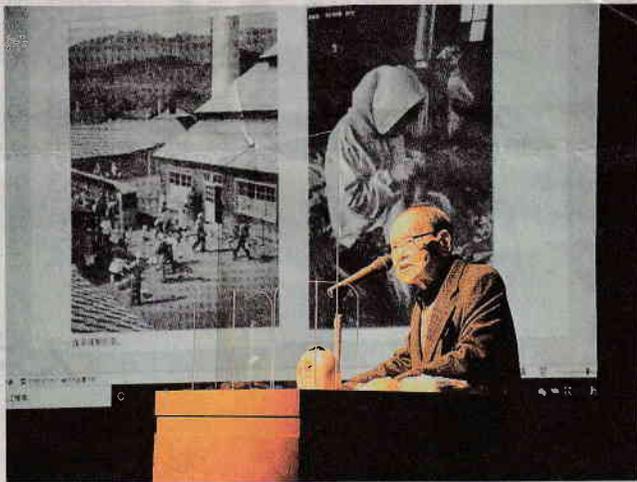
以上の活動を、草津町

の国立ハンセン病療養所「栗生楽泉園」入所者が作った詩の朗読や関係者の語りを通して振り返った。

同園入所者で自治会長を務めた岸従一さんも登壇し、入所が決まった際の家族との関わ

りや入所後の生活などを語った。

(大森末穂菜)



栗生楽泉園での生活などを語る岸さん